

特集序言

「最近話題の油脂関連素材」の 企画と編集にあたって

白井 展也・仲川 清隆

(農研機構・東北大学)

近年、消費者の健康関連への関心の高さから、多くの健康関連成分が市場に出るようになりました。油脂関連の素材としては、n-3 脂肪酸、中鎖脂肪酸など多くの素材が市場に出回っており、今後も様々な素材が市場に出てくるものと予想されます。しかしながら、近年は、水産資源の確保などに代表されるように、環境変動等で、新規の素材開発だけでなく、関連素材の供給源の確保についても検討する必要が出てきました。そこで、本特集では、これまでの特集では、あまり取り上げられてこなかった油脂関連素材や、地域にまだ眠っている油脂関連素材について取り上げ、今後の油脂関連業界の発展につなげていきたいと考えて特集を組みました。

江崎グリコ株式会社健康科学研究所の西野 梓先生、市原敬司先生、京都薬科大学の安井裕之先生、生産開発科学研究所の眞岡孝至先生には、パブリカ由来カロテノイド（パブリカカロテノイド）の抗酸化や血中動態について解説していただきました。パブリカカロテノイドの利用を期待させる内容と思います。

東北大学の白川 仁先生には、ゲラニルゲラニオール（GGOH）のヒトや実験動物における作用について、最近の知見をわかりやすく解説して頂きました。天然由来のイソプレノイドの健康長寿への役割がより明らかになりつつあることを、ご理解いただける内容と思います。

秋田大学の池本 敦先生には、秋田県に眠る様々な素材から、機能性に富んだアケビ種子油を見出し、それを活用するに至る経緯について解説していただきました。今後の地域に密着した素材開発に役に立つ内容と思います。

農研機構 北海道農業研究センターの高桑直也先生には、農作物の新用途開発につながる農業副産物（収穫や加工時に副生する残渣）の活用、そしてそれらを高度利用するための微生物の検索について、解説していただきました。新たな国内での有用資源の開発に役立つ内容と思います。

各先生方から、会員の皆様の役に立つ話題をご提供いただき、面白い特集になりました。執筆いただいた各先生方には、ご多忙のなか、本特集にご理解をいただき、快く執筆をお引き受けいただき、厚く御礼申し上げます。